

2026 年 9 月 29 日

株式会社エレクトロニック・ライブラリー

NTT ドコモビジネス株式会社

ELNET と NTT ドコモビジネス、 新聞記事を活用した生成 AI サービス「ELNET AI」を正式リリース ～2026 年 10 月よりサービス提供を開始～

株式会社エレクトロニック・ライブラリー(以下 ELNET)と NTT ドコモビジネス株式会社(旧 NTT コミュニケーションズ株式会社、以下 NTT ドコモビジネス)は、日々提供される最新の新聞記事を横断的に活用し、効率的な情報整理を実現する法人向け生成 AI サービス「ELNET AI」(以下 本サービス)を共同開発しました。

本サービスは、新聞社・通信社から利用許諾を得た記事を活用しているため、信頼性が高く、かつ、著作権に配慮した情報で、生成 AI によるトピックスの整理・分類・レポート作成を支援します。2026 年 4 月からのパイロット版運用を経て、同年 10 月 1 日より、全国紙を含む 47 紙^{※1}の協力を得て、ELNET のクリッピングサービス^{※2}をご利用中の企業を対象にオプションとして正式版の提供を開始します。^{※3}

1. 背景

近年、企業が膨大な新聞記事や報道情報を迅速かつ正確に把握し、業務や意思決定に活用したいというニーズが高まっています。

一方で、従来の新聞記事クリッピングサービスでは、新聞記事の内容把握や整理、関連情報の抽出、レポート作成といった作業において、人手に依存する部分が多く、担当者の負荷や情報活用のスピードが課題となっていました。

本サービスの提供により、ELNET が採録・蓄積した最新の新聞記事から過去 10 年分の新聞記事と生成 AI を融合させることで、企業がすばやく取得・活用する情報の幅を広げ、DX 推進と意思決定の高度化に貢献します。

2. 本サービスの概要

本サービスは、ELNET が保有する豊富な新聞記事データを活用し、生成 AI によってトピックスの整理・分類・レポート作成を支援するサービス^{※4}です。チャット画面から質問を入力するだけで、信頼性の高い新聞情報をもとに生成 AI が回答を作成するため、誰でも直感的に利用することができます。

日々多くの新聞記事に目を通し、要点整理や社内共有のための資料作成に時間を要している場合でも、必要な情報の把握から出典確認までを効率的に行うことが可能となり、業務負荷の軽減と情報活用の高度化に貢献します。

また、独自に開発した収益分配モデル^{※5}(特許出願中)により、記事の利用度に応じた対価を新聞社・通信社に適切に還元します。これにより、コンテンツの正当な利用と適切な対価還元を実現し、生成 AI 時代におけるコンテンツ提供社との持続可能な共生モデルを提示します。

サービスの詳細は、ELNET AI サービスサイト (<https://www.elnet.co.jp/elnet-ai>) をご覧ください。

3. 本サービスの特長

本サービスの主な特長は、以下のとおりです。

①生成 AI による新聞記事の横断的な情報整理

当日の朝刊を含む全国紙・専門紙・ブロック紙・地方紙などの許諾済みの新聞記事を横断的に整理し、生成 AI が回答を生成します。新聞記事を情報源としているため、出典の信頼性が高い情報にもとづいた回答が可能です。さらに、正式版では、新聞記事の補足として、官公庁や自治体、企業公式サイト、業界団体等が公開する情報も追加され、より幅広い情報整理が可能となりました。

②クリッピングサービスとのスムーズな連携 【正式版新機能】

ELNET が提供する「モーニングクリッピング®※6」をはじめとしたご契約中のクリッピングサービスで毎朝配信される記事データとダイレクトに連携※7します。朝のクリッピング結果を AI がトピックスとして整理するため、社内共有に向けた情報整理も効率的に行えます。

③回答内容とあわせて出典記事の確認が可能

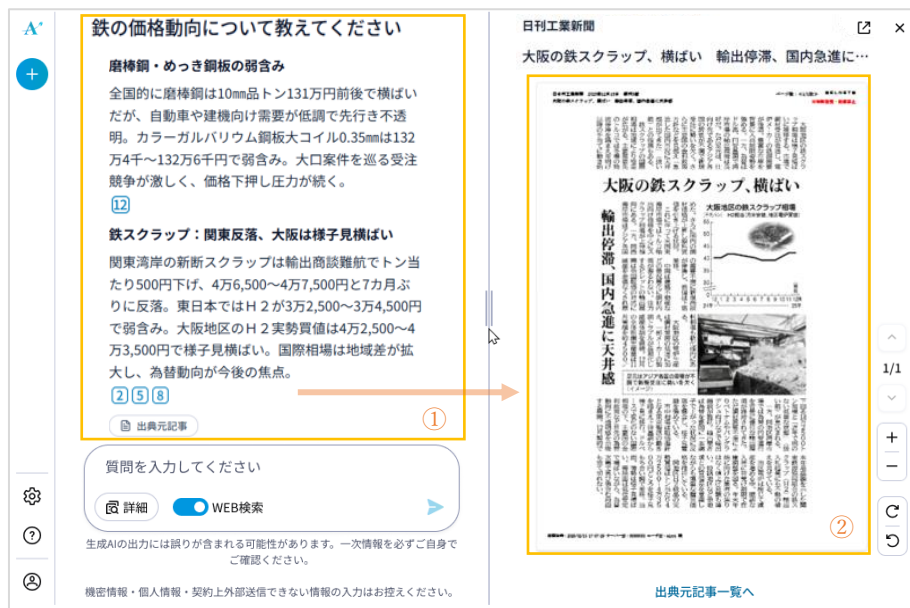
生成された回答内容に参照された記事原文を確認できるため、ファクトチェックや内容確認も効率的に行うことが可能です。（WEB 情報の場合は該当 WEB サイトへ遷移します）

④セキュリティ・コンプライアンスに配慮した安心のサービス

データは暗号化された環境で安全に管理され、お客様がチャットに入力した情報は AI モデルの学習には利用されません。また、提供する記事については、新聞社・通信社などの著作権者から許諾を得ており、コンプライアンスにも配慮しています。



ホーム画面



回答画面（①生成データ ②記事原文※）

※日刊工業新聞 2025 年 12 月 16 日付 掲載許諾済

<本サービスの利用画面イメージ>

4. 提供開始日

2026 年 10 月 1 日

5. 提供価格

ご利用内容をお伺いした上で個別にご案内しております。詳しくは下記サービスサイトよりお問い合わせください。

【お問い合わせ先】ELNET AI サービスサイト：<https://www.elnet.co.jp/elnet-ai>

※本サービスは、ELNET が提供するクリッピングサービス（「モーニングクリッピング®」「メール型」「FAX 型」）をご契約のお客様向けのオプションサービスです。ご利用には別途クリッピングサービスのご契約料金が発生します。

6. ご利用のお申込み・お問い合わせ

本サービスのご利用をご希望の方、または導入に関するご相談につきましては、下記サービスサイトよりお問い合わせください。

【お問い合わせ先】ELNET AI サービスサイト：<https://www.elnet.co.jp/elnet-ai>

7. 今後の展開

今後も ELNET と NTT ドコモビジネスは、お客さまからのフィードバックやご利用状況を踏まえながら、生成 AI による情報整理・活用の高度化や機能改善を進めるとともに、新聞社・通信社と連携して対象媒体のさらなる拡充を検討していきます。

これらの取り組みを通じて、信頼性の高い新聞情報を企業の意思決定や情報活用につなげる生成 AI サービスとして、本サービスの価値向上を図っていきます。

※1：2026年10月1日のサービス開始時点でご協力いただく新聞・通信社は以下の通りです。（2026年9月29日時点の予定）

全国紙：朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、産経新聞

専門紙：日刊工業新聞、電波新聞、ガスエネルギー新聞、週刊粧業、電経新聞、

電子デバイス産業新聞（半導体産業新聞）、薬事日報、鉄鋼新聞、金融経済新聞、保険毎日新聞、

日刊建設工業新聞、映像新聞、商業施設新聞、織研新聞、繊維ニュース、日本海事新聞、

観光経済新聞、日刊水産経済新聞、食品新聞、食品産業新聞、生産性新聞

ブロック紙：河北新報

地方紙：東奥日報、秋田魁新報、千葉日報、富山新聞、北國新聞、信濃毎日新聞、岐阜新聞、京都新聞、

奈良新聞、山陽新聞、山口新聞、高知新聞、長崎新聞、琉球新報

スポーツ紙：日刊スポーツ、スポーツニッポン、サンケイスポーツ

タ刊紙：日刊ゲンダイ

通信社：時事通信 など、新聞47紙、通信社1社

※2：クリッピングサービスとは、新聞、雑誌、WEBメディアなどから、自社や関連業界に関する記事を収集・整理し、定期的に報告するサービスです。

※3：本サービスのご利用範囲および条件は、会員規約に定める内容が適用されます。

※4：ELNETのクリッピングサービスをご利用されているお客様向けのオプションサービスです。

※5：収益分配モデルとは、ユーザーへの回答に貢献した記事の影響度を分析し、その影響度に応じて収益を還元する仕組みです。

※6：モーニングクリッピングとは、新聞・雑誌・WEBニュースの最新記事を毎朝7時台に自動で収集し、PCやスマートフォンで共有できる法人向けの情報収集・配信サービスです。

[モーニングクリッピング®](#)

※7：クリッピングサービスとの連携対象は、本サービスでの利用許諾を得た対象紙の記事です（順次拡大予定）。

【ELNET 会社概要】

社名：ELNET(株式会社エレクトロニック・ライブラリー)

所在地：〒104-0031 東京都中央区京橋2-12-6

TEL：03-6271-0670(代表)

URL：<https://www.elnet.co.jp/>

ELNETは1986年創立(創立40年目)。新聞・通信・出版各社発行の新聞雑誌記事を横断的に取り扱うクリッピング・データベース事業会社として、電通、朝日新聞社、読売新聞社、NTTほか多数の株主の皆様のご協力を得て設立されました。新聞、雑誌、WEBニュースのクリッピングおよびデータベースを企業や官公庁、大学などのお客様に提供しています。著作権許諾済みの蓄積記事は5,000万件を超えました。

ELNETは2026年に40周年を迎えます。この度、創業以来の当社の使命を遂行しつつ、「新ステージへの躍進」を表現し、40周年ロゴを作成いたしました。



【NTT ドコモビジネス株式会社 会社概要】

社名：NTT ドコモビジネス株式会社

所在地：〒100-8019 東京都千代田区大手町 2-3-1

「NTT コミュニケーションズ株式会社」は 2025 年 7 月 1 日に社名を「NTT ドコモビジネス株式会社」に変更しました。私たちは、企業と地域が持続的に成長できる自律・分散・協調型社会を支える「産業・地域 AX のプラットフォーム」として、新たな価値を生み出し、豊かな社会の実現をめざします。

つながろう。驚きを。幸せを。



<https://www.ntt.com/about-us/strategy.html>

【本件に関するお問い合わせ先】

ELNET（株式会社エレクトロニック・ライブラリー）

経営企画部企画課

TEL :03-6271-0670(代表)

ML : contact@elnet.co.jp

NTT ドコモビジネス株式会社

ビジネスソリューション本部

第四ビジネスソリューション営業本部

ML : jinji-4bs@ntt.com

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

ELNET（株式会社エレクトロニック・ライブラリー）

経営企画部企画課

TEL :03-6271-0670(代表)

ML : contact@elnet.co.jp

NTT ドコモビジネス株式会社

経営企画部 広報室

ML : pr-cp@ntt.com